

あいさつについて

～家庭での声かけもよろしくお願いします～

風薫る5月。校庭の木々も緑が鮮やかになり新緑の季節を迎えました。県内のコロナウイルスへの感染者も少しずつ減ってはきてはいますが、依然高止まりが続いています。本校では、予定していた4月の行事も全て実施でき、子供たちは毎日の学校生活を生き生きと過ごしています。

さて、私は、毎朝おぶち薬局の前で子供たちの登校を見守っていますが、PTA生徒指導委員会の学期初めの街頭指導、防犯協会、交通安全母の会の皆様の毎月6日の街頭指導等々、お陰様で子供たちのあいさつはいつも明るく元気いっぱいです。

しかし、登校後に各教室を回っている時や下校時のあいさつは必ずしも十分ではありません。学校で働く人たち（先生方、事務さん、用務員さん）やお客様、友達に対してはもちろんのこと、いつでも、どこでも、誰とでも気持ちの良いあいさつができる子供を育てることが大切だと思います。

4月の始業式で、今年度頑張っけてほしいことの3つのうちの1つに「進んであいさつをする」があります。

あいさつという言葉の「あい」は「後ろから押す」「近づく」という意味があります。そして、

あいさつの「さつ」は「迫る」とか「近づく」という意味があります。

つまり、あいさつとは「心を開いて相手に近づく（迫る）」という意味があります。日常生活の場面で、接する人との信頼関係を保つ第一歩です。子供たちが気持ちの良いあいさつができるようになるには、まず大人が見本を示し、手立てを講じることが何よりも大切です。学校でも、改めてあいさつの大切さを見直し、様々な場面をとらえ、繰り返し繰り返し働きかけようと思います。ご家庭でも日常のあいさつの指導をよろしくお願いいたします。

